



1月の園だより

令和5年1月4日
目黒区立田道保育園園長

新年あけましておめでとうございます

新年の澄み切った青空の下、子どもたちの賑やかな声が戻ってきました。年末には、3、4歳クラスの子どもたちが大掃除をしました。保育士が「きれいにすると、年神様が嬉しいことや楽しいことを運んでくれるよ、みんなでお掃除しようか」と誘うと「やる」と意欲的です。手のひらサイズに切ったシーツをタライの水に入れ保育士の真似をして雑巾を絞り「冷たい」と言いながらもてもやる気が勝り嬉しそうです。自分の衣類かご、椅子、クラスの玩具などを拭きながら「かみさまきてねー」と自分の仕事に満足そうでした。4歳児クラスの子は「私の家もきれいにしなくっちゃ」と年神様の話を自分の家のことに繋げているところに年齢発達の違いを感じました。子どもたちの「やってみるよ、友達と一緒にがんばるよ」という姿が保育園の目指している子ども像と重なりとても嬉しく喜びを感じた場面でした。今年も子どもたちの感じたこと、喜びを共に味わい、子ども、保護者、保育園が心身ともに健康で明るく過ごせるように努めていきたいと思えます。

どうぞ一年よろしくお願いたします。

今月の予定

新年子ども会（3・4・5歳児）
でんどうらんど
避難訓練 身体測定

クラス懇談会予定

0歳児クラス 1歳児クラス
2歳児クラス 3歳児クラス
4歳児クラス 5歳児クラス

☆ワクワク 楽しいね☆ 乳児お楽しみ会

ワンワンおさんぽ

楽しい音楽と共にかわいい犬がたくさんやってきました。子どもたちの足元に近づくとドキドキ戸惑いながら傍にいる保育士の方を見えています。「ワンワンかわいいね」と撫でて見せると、安心したように「ワンワン」と指さし自分から近づいていきそっと撫でていました。



“なんで大根やにんじんが真っ黒なの？”

にんじんはなぜあかい？

知ってる野菜の色とは違う不思議な話に身を乗り出して興味津々です。野菜がお風呂に入るシーンでは「いーち、にーい、さーん…」と先生や友達。一緒になって大きな声で数えます。真っ黒にんじんが赤く変身した時には「わあーあかい」と大喜びでちょっとほっとした様子でした。

“気味の悪い大きなトロル”が登場するドキドキの人形劇にちょっぴり怖くなってしまった子は保育士の後ろにそーっと隠れます。“怖くないぞ”とばかりに大きな声で笑い飛ばす子もいました。ハッピーエンドのお話にホッとして賑やかな雰囲気です。

三匹のやぎのがらがらどん



お部屋の中は楽しいことがいっぱい 3, 4, 5 歳児クラス



『発見！ぱっちゃんこ』

3歳児クラス（ぺんぎん組）

子どもたちが今とても好きな遊びは洗濯ばさみを使ったパチンコです。始めは洗濯ばさみを交互に挟んで付けたりうまく組み合わせを考え、恐竜や船を作っていた子どもたちですが、ある時“パチン”と挟んでいた場所が取れて飛んでいきました。「今飛んだ。すごい、ぱっちゃんこだー」と発見し「パッチーン」という音と共に「やったー」「あー」と子どもたちの歓声が聞こえ、友達同士で「ここはこうやって挟むんだよ」「ここを押すと・・・」と飛んでいく洗濯ばさみぱっちゃんこを楽しんでいます。保育士が「的があったらどうかな」と提案し的の作りをしてみると「射的だよ」と「Oが100点、☆は50点」と作る子、自分たちのマークを書いた的をたくさん作る子、細長く紙を切り横につながる的をたくさん作る子といろいろなのができあがりしました。「何それやりたい」「いいよ」と友達が参戦するとやり方を一生懸命教えてあげる様子は的あて屋さんようです。子どもたちの“おもしろい”、“たのしい”の発見から遊びが広がり、今ではとても好きな遊びとなり友達と一緒に楽しんでいます。



『何が出るかなお楽しみ』

4歳児クラス（いるか組）

いつも楽しいことを考えて、遊びに取り入れ発想豊かなアイディアを作り出し遊んでいます。好きな色やキャラクターの絵を紙に描いて小さく切り、折り畳んでビニール袋に入れると「くじびきできた」と仲の良い友達の所に持って行きました。「1人1つですよ」「オレンジとピンクときいろがあたりです」と説明し、それを聞いた子は順番にくじを引いていきます。「やったー、あたり」「はずれかー」と友達とやりとりを楽しんでいるうちに他の子も真似をして数字を書いたバージョンやおばけバージョンなど様々なものへと発展していきました。「わたしのくじも引いて」「どうやるの」「犬が出たらワンって犬の真似しなきゃなんだよ」と子どもたちが作ったくじ引きには1人ひとりがオリジナルのルールを考え、くじ引き1つの遊びでも様々なルールがありとても面白いです。手作りくじ引きや折り紙で作ったパクンチョコ、ルーレットやがちゃがちゃなど、お楽しみ要素のある遊びで互いにわくわくしながら友達と一緒に「またこれしようよ」と誘い合い楽しんでいます。

『ビー玉コロコロ大作戦』

5歳児クラス（くじら組）

木製の色々な形のパーツを組み合わせてビー玉を転がして遊ぶスカリーノで毎日遊んでいます。ビー玉がスムーズに転がる道を作るのは、なかなか難しく道のつながりをあまり考えずに組み合わせてしまうと、ビー玉がすぐに止まってしまったり床に落ちてしまい「あーだめだ」と残念そうに肩を落としています。しかし、うまく転がらなかったことで今度はこうしてみようとよく考えて作る姿が見られるようになりました。友達と一緒に「こっちを坂道にしよう」「じゃ、ここを落とし穴にするっていうのは」「もっと高くしないと転がらないよ」などとやりとりをしながら作っていきます。“ここにこれを置いたら失敗したから”と配置や組み合わせを工夫して道が出来上がると、“次こそうまくいくかな”とワクワクの瞬間です。転がっていくビー玉を見て、考えた通りに進んだ時には「おー」と感動の声が上がり、予想とは全く違う方向へ進んでいくと友達と大笑いしたりと失敗も楽しめる余裕も出てきました。自分と友達の発想が合わさると新しい発見となり、やってみたいことがたくさん増え、みんなで楽しむ子どもたちです。

